



# 春日井ロータリークラブ 2011～2012年度 WEEKLY REPORT

クラブテーマ

## 仲間を増やし、 思いやりの心を育もう

会長：風岡 保広 例会日：金曜日 12:30～13:30  
副会長：清水 勲 例会場：ホテルプラザ勝川  
幹事：北 健司 事務局：春日井市鳥居松町 5-45  
会報委員長：志水ひろみ TEL:(0568)81-8498 FAX:(0568)82-0265  
E-mail : ksgj-rc@gaea.ocn.ne.jp



東京都議会議長賞

東京朝顔研究会

2012年6月8日(金)第2095回(6月第2例会)

### 本日のプログラム

- |              |         |        |
|--------------|---------|--------|
|              | 司会      | 加藤久仁明君 |
| ・点鐘          |         | 風岡 保広君 |
| ・ROTARY SONG | 「奉仕の理想」 |        |
| ・今月の歌        | 「故郷」    |        |
| ・ビジター紹介      |         | 風岡 保広君 |
| ・食事・歓談       |         |        |
| ・委員会報告       |         |        |
| ・祝福          |         |        |
| ・卓話          | 大橋 完一君  | 中川 健君  |
| ・幹事報告        |         | 北 健司君  |
| ・点鐘          |         | 風岡 保広君 |

### 今月の歌

故郷  
うさぎ追いし かの山  
小鮎つりし かの川  
夢は今も めぐりて  
忘れがたき 故郷

### 今月の祝福

### 会員誕生日

2日 山口 由起君 7日 杉山 孝明君  
12日 大橋 完一君 13日 加藤久仁明君  
21日 小島啓治君

### 夫人誕生日

1日 大畑 一久君・三千代さん  
2日 林 徹君・千枝子さん  
19日 高橋 理江君・宏治さん  
21日 蓮野 美廣君・ヒロミさん

### 結婚記念日

6日 中川 健君

### アテンダンス表彰

10ヶ年 社本 太郎君

### 先週の記録

### 会長挨拶

会長 風岡 保広君

今日は、親睦活動月間ですが、ロータリーにおける親睦活動と親睦は定義が明確に違うということでございます。今日は、親睦について、お話をしたいと思います。親睦と奉仕がロータリーライフを支える大きな柱ですが、いわゆる奉仕がロータリー運動の大きな目的であり親睦は、それをささえる大きな柱であるといわれております。ロータリーの原点は、週1回の例会に出席することであり、そこから友情を深め、自己改善をはかり、職業上の情報交換を通じて分かち合いの精神による事業の永続性を学ぶことにより、その結果として奉仕の心が育まれてきます。この例会における一連の活動のことを「親睦」というと、定義つけられております。すなわち、ロータリーの目的は奉仕であり、奉仕は親睦から生まれ、親睦は例会出席よりはじまるということでございます。よろしくお願いたします。

きょうの卓話は、日頃我々が例会の食事などで大変お世話になっております、ホテルプラザ勝川のシェフであります大鹿祐司さんでございます。よろしくお願いたします。

### 幹事報告

幹事 北 健司君

第12回理事会報告

5月一般会計報告 可決承認

次年度クラブ会費の件 可決承認

山田治君体調不良により7月末まで休会届 受理

### ロータリー親睦活動月間

例会予定	6月15日(金)	6月22日(金)	6月29日(金)	7月6日(金)
	卓話 後藤 真由子氏	IDM ヒルトン名古屋 17時30受付 18時例会	休会定款6-1	理事役員会 11:30 クラブ協議会 13:30 全員協議会

ホームページ：<http://www.kasugai-rc.jp>

E-mail：[ksgj-rc@gaea.ocn.ne.jp](mailto:ksgj-rc@gaea.ocn.ne.jp)

東尾張分区 現・次期会長幹事会開催の案内  
 6月7日(木)  
 次期会長幹事会 17:30～ 2F 銀の間  
 現・次期会長幹事会 18:30～ 2F 金の間  
 場所：ウェスティン名古屋キャッスル  
 地区役員及び会長幹事会開催の案内  
 6月9日(土) 18:00～  
 名鉄グランドホテル 11F 柏の間

加知 康之君 亀谷 鉦一君 加藤 茂君  
 加藤 宗生君 貴田 永克君 北 健司君  
 小島 啓治君 名畑 豊君 中島 宗幸君  
 成瀬 浩康君 小川 長君 大橋 完一君  
 太田 弘道君 岡田 義邦君 志水ひろみ君  
 清水 勲君 高橋 理江君 宅間 秀順君  
 峠 テル子君 塚本 兼光君 和田 了司君  
 屋嘉比良夫君

ニコボックスご利用誠にありがとうございます。  
 中川 健君

**例会変更のお知らせ**

愛知長久手 RC	6月12日(火) 6月12日(火) 例会場の都合の為 長久手温泉
尾張旭 RC	6月22日(金) 6月22日(金) 18:00 夜間例会の為 南風
尾張中央 RC	6月20日(水) 6月20日(水) 18:30 夜間例会の為 名鉄グランドホテル
名古屋名駅 RC	6月20日(水) 6月20日(水) 夜間例会の為名鉄ニューグランドホテル
名古屋守山 RC	6月20日(水) 6月20日(水) 夜間例会の為 未定
名古屋清須 RC	6月19日(火) 6月19日(火) 夜間例会の為
名古屋葵 RC	6月21日(木) 6月23日(土) 移動例会の為
犬山 RC	6月26日(火) 6月23日(土) 夜間例会の為名鉄犬山ホテル

**卓話 ホテルプラザ勝川 シェフ大鹿 裕司氏**

今、日本の子供達の食生活は、危険に晒されていると感じています。

本日は、『食』に関わる話をさせていただく機会をいただき、春日井RC会員の皆様には大変感謝を申し上げます。

今、世界では経済的な格差によって、食生活が豊かな国と貧しい国とに分かれています。しかし、子供達の食生活、特に健康的でバランスのよい食事環境という点からみれば豊かな国ほど乱れているのが現状の実態です。

かつて大正時代から昭和の初期にかけて日本では健康的であるという観点においても1・2を争うほど食生活の良い国とされていたそうです。

それでは、何時からこのバランスが崩れてきたのでしょうか？

70年ほど前・そう太平洋戦争を境にこのバランスが崩れていったと感じます。

食べ物に特に乏しかった時代を経て急速に発展を上げた経済と共に食べ物が豊富な時代へと移り変わってきました。

こんな幸せな時代に育った私達は、真剣にこの問題に取り組みなければいけないのではないのでしょうか？

そして今、子供達に何が起きているのでしょうか？

**出席報告 委員長 蓮野 美廣君**

会員 52名	欠席13名	出席率 82.6%
先々週の修正出席	欠席2名	出席率 96.2%

**ニコボックス報告 委員長 中川 健君**

春日井フードショップPRありがとうございます。  
 (社)春日井青年会議所 灰崎 信吉様  
 伊藤 正樹様  
 「私の気持ちです」 磯野 俊雄君  
 春日野部屋後援会会員の紹介をお願いします。  
 こんな時だけ出席で申し訳ありません。

高木 修君  
 メーテレUP!で明太子フランスが紹介されました。  
 社本 太郎君  
 プラザホテル勝川 大鹿裕司シェフの卓話を聞く喜びで。  
 風岡 保広君  
 大鹿さん、今日はよろしく申し上げます。  
 近藤 太門君

大鹿裕司シェフの卓話。  
 足立 治夫君 浅井 瀧治君 蓮野 美廣君  
 林 憲正君 林 徹君 伊藤 正之君

「コケッコー症候群」	
*個食	個人・個人で好きな食事を取り偏食である事
*欠食	朝起きる事が出来ずに朝食を抜く事や、時間に追われて食事を抜く事
*孤独食	家族がバラバラで、一人で食事をする会話のない食事の事
*粉食	噛む事がなく流し込み、顎の発達を妨げる食事の事

4つの頭文字をとって個・欠・孤・粉・コケッココー症候群とします。

食事の本質的な意味は、カロリーを摂取するだけの行為ではないはずで「生きる為の活力を養う」行為なのです。

コケッココー症候群のように、エネルギーをチャージするだけの機械的食事ではなく脳を活性化させる為の本当の意味での「豊かな食生活」を皆様で、考えてみてはいかがでしょうか？

私達が、もう少しだけ子供達の食生活に気を配れたら、食生活の環境が大きく変わると感じています。

家族みんなで、ゆっくりとお喋りをしながら楽しい食事を持つ時間を作って頂ければいいと考えています。肉・魚・野菜・と愛情いっぱいバランスの良い食事を楽しんで頂きたいのです。

昨年度より私は、春日井市立小中学校の給食に携わる機会を、頂きました。

今年度も6回私のレシピによる給食が、春日井市内全小中学校に提供されます。

本日皆様にお召し上がり頂いたメニューの一部を、6月7・8日の2日間で、子供達にも食べていただきます。同時に「味覚の授業」と題し小学校へ出向き授業を行います。

子供達に五感を考えさせ、特に味覚を中心に授業を進め、3時間目と給食の時間に、甘味・苦味・酸味・塩味・旨味・と噛む事によって味の変化を感じとって頂きたいのです。子供達の脳を活性化させ、バランスのいい楽しくて美味しい給食の時間を子供達が共有する事が大切だと考えています。

25年程前にフランス国では、いち早く子供達の食生活を問題視し国全体で取り組み始めました。ファーストフードやミニマーケットの進出により、取り巻く環境の変化が、農業国そして美食国の根幹を揺るがす問題だったからです。毎年10月の第3週目を味覚の1週間とし政府が中心となり食のイベントや全土レストランでの合同企画など食生活を考える1週間とされています。最大のイベントの1つに、フランス全土の小学校へ地元のシェフが先生となり食生活を考えさせます。昨年より日本でも、このイベントが行われ、全国28校の小学校がフランスと同じカリキュラムで授業が行われました。

2011年10月25日に春日井市立勝川小学校がフランス政府より認定校とされ、私が講師となり大使館のスタッフと共に『味覚の授業』が開催できました。フランス料理に携わる者として、今年度も是非春日井市の小学校が認定されるように働きかけると共に、毎年春日井市のどこかの小学校が認定されます事を期待しております。

社会貢献の一環として始めた学校給食が、子供達の食べ物に対する興味を向上させ、コケッココー症候群の解消と、PTAを中心とした地区連合会及び、子供会などの、講演会など春日井市の中で少しずつ

広がり始めました。

最後になりましたが、何十年か先に今よりもっと「幸せで豊かな食生活を送れる町」でありたいものです。

長い時間 御静聴ありがとうございました。



(青年会議所 フレンドシップPR)



(卓話 大鹿シェフ)



(コケッココー症候群)



(例会メニュー・学校給食で一部出されます)